

## 今月の技術対策 (園芸編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

### 【メロン】

#### 1. 無加温半促成作型

30℃以上の高温では、実くずれ果が発生しやすくなるので、適切な温度管理と適期収穫を行いましょよう。また、降雨が続くと裂果の発生や糖度低下を招くので、ハウスの周りに簡易排水路等を設け雨水の流入と停滞水を防止しましょよう（写真1）。

#### 2. 抑制栽培

8月中～下旬に着果期を迎えるため、適正なかん水や草勢管理を行い、訪花昆虫の準備等も的確に行いましょよう。

#### 3. 病害虫防除

ハダニ類、アブラムシ類などの発生が増加するので、葉裏の寄生状態を確認し初発を見逃さずに適期に薬剤散布を行いましょよう。



写真1 簡易排水路の設置例

### 【ミニトマト】

#### 1. 高温期の管理

高温期は、株の消耗によるガク枯れや落花が多くなるので、生育や気象条件に合わせた適切なかん水と追肥、葉面散布を行いましょよう。また、ハウス上部より天窗、妻窓で換気を行いましょよう。

#### 【注意】

- ・ **30℃以上** : マルハナバチの活動低下、花粉の能力低下により着果数が減少します。
- ・ **35℃以上** : 着色不良果の発生が多くなります。

#### 2. マルハナバチの利用にあたって

ミニトマト等でマルハナバチを利用する際、マルハナバチ飛散防止ネット設置が義務化されています。また、使用後には死滅処理を確実にすることが必要です。

## 【かぼちゃ】

### 1. トンネル早熟作型

収穫期となるので、適熟果を収穫しましょう。収穫後は速やかにほ場から搬出し、キュアリング（写真2）を適切に行い、内部品質の向上と腐敗防止を図りましょう。

### 2. 露地マルチ作型

摘果や整枝作業を適期に行いましょう。また、高温や乾燥により、うどんこ病などの発生で枯葉が多くなると、日焼け果の発生を助長するので、的確に薬剤散布を行いましょう。



写真2 キュアリング

## 【アスパラガス】

### 1. 露地作型

支柱やテープなどを用いて必ず倒伏防止対策を行い、斑点病、茎枯病などの防除に努め、光合成による養分転流を高めましょう。

### 2. 病害虫防除

#### (1) ツマグロアオカスミカメ

幼虫や被害を確認したら茎葉散布による薬剤防除を行いましょう。

#### (2) 斑点病、茎枯病防除

被害を軽減させるためには、早期の防除が重要です。初発を確認次第、防除を行いましょう。



写真 ツマグロアオカスミカメ

**農薬の適正使用・生産履歴の記帳を忘れずに！**  
**～農作業安全・無理な作業を控えて適度な休憩、休息をとりましょう～**